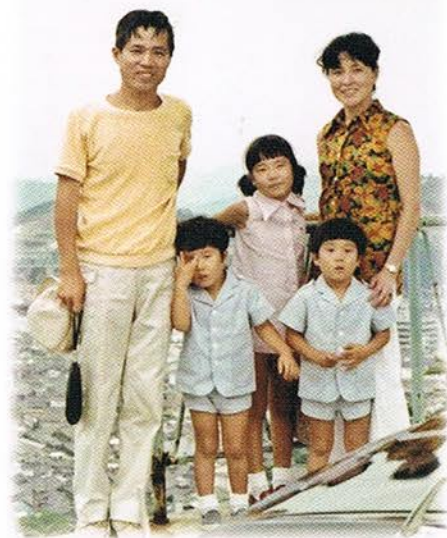


家族がふたたび、写真のように幸せに暮らせる日を願って。

# めぐみちゃん 家族のメッセー ジ



昭和49年・広島・音戸の瀬戸公園で(小4)



昭和47年・広島県内で(小2)

## 横田 滋 写真展

～めぐみさん 家族と過ごした13年

入場無料

9月17日[水]→23日[火・祝]  
京都高島屋グランドホール〈7階〉

ご入場時間＝午前10時～午後7時30分(午後8時閉場)

※最終日9月23日[火・祝]は午後4時30分まで(午後5時閉場)

主催：あさがおの会 共催：朝日新聞社 後援：京都府、京都市

めぐみちゃん家族の  
メッセージ

# 横田 滋 写真展

めぐみさん 家族と過ごした13年

入場無料 9月17日[水]→23日[火・祝]  
京都高島屋グランドホール(7階)

ご入場時間=午前10時～午後7時30分(午後8時閉場)  
※最終日9月23日[火・祝]は午後4時30分まで(午後5時閉場)

主催:あさがおの会 共催:朝日新聞社 後援:京都府、京都市



このたびの写真展は、  
横田ご夫妻のご好意により、  
めぐみさんの  
思い出の品々も  
ご覧いただく  
貴重な機会  
となります。

## 誕

生から入園、入学、運動会、遠足、お稽古ごと…。愛する子どもの成長を、フラインター越しに慈しんだ、我が子の笑顔と記憶。私達は、その写真の数々を見るとき微笑ましい普通の時間が、ある日突然途切れてしまったことに、憤りと深い悲しみを抱かずにはいられません。

## 横

田めぐみさんが13歳で拉致され、家族から引き離されてから37年が経過します。横田滋さんと早紀江さんはこの事実を多くの方に考えて貰いたいと、大事にしてきた写真を広くご覧いただきてきました。今回はこれらの写真に加え、めぐみさんの思い出の品の数々もご覧いただけます。めぐみさんの存在を感じることで、横田さんご夫妻がどれ程強い思いでめぐみさんの帰国を待ち侘びているかわかりいただけることでしょうか。

## 私

達は写真に写っているかつての楽しかった時間を取り戻したいのです」という滋さん。それはまぎれもない心からの願いなのです。



### めぐみさん・双子の弟さんを モデルにしたお人形

心温かい支援者の方(東京都小平市在住・藤屋喜代子様)が、写真展で展示される中の広島・呉で撮影した写真をご覧になり、心を込めて制作してくださいました。あまりにも写真とそっくりで、あの場所のあの時の、風や海の香りが感じられます。

## 石高健次氏と 横田夫妻による座談会

■9月18日(木) 午後2時 ■会場にて開催

石高氏は、拉致問題をはじめ、アスベスト健康被害など、数々の社会問題と取り組んできたジャーナリスト。「めぐみへの遺言」を共著としてまとめた横田夫妻とじっくりと語り合う座談会です。今、我々が何をすべきか…の示唆を与えていただける貴重な機会です。



石高健次氏 プロフィール  
1974年に朝日放送入社。2011年に退社するまで数多くのドキュメンタリー番組を手がける。1981年在日コリアンの差別を告発した「ある手紙の問いかけ」でJCJ奨励賞、1971年横田めぐみさん拉致を突き止め、その経緯と家族達の苦悩を描いた「空白の家族達」で新聞協会賞、2005年アスベスト健康被害の被害実態を世に出し社会的問題化のきっかけを作った。横田夫妻との共著「めぐみへの遺言」で聞き手を務めた。現在フリーランスで活躍中。

## 吉田直矢氏によるトーク&ミニコンサート

■9月17日(水) 午後2時・18日(木) 午前11時 ■会場にて開催

めぐみさんの中学校時代の同級生であり、めぐみさん救出に向けたチャリティコンサートも手がけるバイオリニスト。力強い意思の調べ、心を打つ祈りの調べを、お楽しみくださいませ。

吉田直矢氏 プロフィール  
5歳でヴァイオリンを始める。桐朋学園大学卒業後、パリ・エコール・ノルマル留学。セルジュ・ブラン氏(元パリオペラ座ソロコンサートマスター)に師事。留学中、パリで開催された第65回レオポルド・ベランコンクール第1位、第10回パッサン国際コンクールで最優秀賞を受賞。新潟市立寄居中学校でのめぐみさんの同級生であり、本展の主催である「あさがおの会」が制作した短編映画「たたいまの声を聞くために」にも出演、めぐみさん救出に向けたチャリティコンサートも手掛ける。